



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月13日

上場会社名 S & J 株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5599 URL <https://www.sandj.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三輪 信雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 経田 洋平 TEL 03 (6205) 8500  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	908	27.4	188	53.3	189	63.2	129	70.8
2024年3月期中間期	713	-	122	-	115	-	76	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	23.07	21.99
2024年3月期中間期	15.27	-

- (注) 1. 当社は、2023年3月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2024年3月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。  
2. 2024年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。  
3. 当社は、2023年6月26日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	2,569	1,888	73.5
2024年3月期	2,461	1,758	71.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,888百万円 2024年3月期 1,758百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,013	25.0	403	15.6	403	26.3	271	24.4	48.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	5,627,200株	2024年3月期	5,627,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	23株	2024年3月期	23株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	5,627,177株	2024年3月期中間期	4,980,000株

(注) 当社は、2023年6月26日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年11月26日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の動画については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善、訪日観光客のインバウンド需要拡大による緩やかな回復傾向が見られるものの、国際的な情勢不安の長期化や海外景気の下振れによる景気の下押しリスク、円安による物価上昇の継続等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する情報セキュリティ業界を取り巻く環境としては、大手企業におけるランサムウェア攻撃による被害が報告されるなど、サイバー攻撃があらゆる業界や業種において発生しており、情報漏洩等の被害も増加傾向にあります。このような状況により、情報セキュリティ対策の必要性や重要性が強く認識されていることなどから、情報セキュリティ関連のIT投資は業種・業界を問わず増加傾向にあり、需要は比較的堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当中間会計期間の業績につきましては、監視サービス等の新規案件を着実に獲得したことに加え、セキュリティ評価支援サービスの提供やセキュリティインシデントへの対応等を実施いたしました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高908,825千円(前年同中間期比27.4%増)、営業利益188,431千円(同53.3%増)、経常利益189,279千円(同63.2%増)、中間純利益129,844千円(同70.8%増)となりました。

なお、当社はサイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、サービス区分別の状況は、次のとおりであります。

#### ① SOCサービス

既存顧客への監視・運用サービスを継続して提供したことに加え、新規顧客に対するKeepEye等の新規案件の獲得によりSOCサービスの売上高は698,382千円(前年同中間期比29.1%増)となりました。

#### ② コンサルティングサービス

セキュリティ評価支援サービスの提供やセキュリティインシデントへの対応により、コンサルティングサービスの売上高は210,443千円(前年同中間期比22.1%増)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間会計期間末における資産合計は2,569,888千円となり、前事業年度末に比べ108,644千円増加いたしました。

流動資産は2,215,634千円となり、前事業年度末に比べ130,127千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が84,381千円、スポット売上が前事業年度末と比較して減少したため売掛金が68,428千円減少したものの、旧本社事務所の差入保証金が返還前のため流動資産のその他に含まれる未収入金が13,794千円増加したことによるものであります。

固定資産は354,253千円となり、前事業年度末に比べ238,771千円増加いたしました。これは投資その他の資産が8,996千円減少したものの、有形固定資産が247,768千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当中間会計期間末における負債合計は681,876千円となり、前事業年度末に比べ21,199千円減少いたしました。

これは主に未払法人税等が18,766千円、本社移転に伴う費用等により流動負債のその他に含まれる未払金が36,166千円増加したものの、ストック売上への振替により契約負債が56,421千円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が14,695千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は1,888,011千円となり、前事業年度末に比べ129,844千円増加いたしました。これは中間純利益の計上により利益剰余金が129,844千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は73.5%(前事業年度末は71.4%)となりました。

### (3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ84,381千円減少し、2,035,498千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は147,717千円(前年同中間期は68,941千円の使用)となりました。主な減少要因としては、契約負債の減少額56,421千円、未払消費税等の減少額14,695千円、法人税等の支払額34,667千円、その他の減少27,044千円であり、主な増加要因としては、税引前中間純利益189,279千円、減価償却費18,346千円、売上債権の減少額68,428千円、仕入債務の増加額5,236千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は232,098千円(前年同中間期は11,149千円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出232,098千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

該当事項はありません。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年10月23日公表の「2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2025年3月期の通期業績予想につきましては、業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,119,879	2,035,498
売掛金	154,948	86,519
仕掛品	4,171	6,980
その他	66,762	86,636
流動資産合計	2,345,762	2,215,634
固定資産		
有形固定資産	23,265	271,033
投資その他の資産	92,216	83,219
固定資産合計	115,481	354,253
資産合計	2,461,243	2,569,888
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,880	11,117
未払法人税等	49,170	67,936
契約負債	548,088	491,667
その他	99,937	111,156
流動負債合計	703,076	681,876
負債合計	703,076	681,876
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	441,629	441,629
資本剰余金	580,479	580,479
利益剰余金	736,088	865,932
自己株式	△30	△30
株主資本合計	1,758,167	1,888,011
純資産合計	1,758,167	1,888,011
負債純資産合計	2,461,243	2,569,888

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	713,305	908,825
売上原価	393,280	473,224
売上総利益	320,024	435,601
販売費及び一般管理費	197,100	247,169
営業利益	122,924	188,431
営業外収益		
雑収入	554	680
その他	6	168
営業外収益合計	560	848
営業外費用		
上場関連費用	7,486	—
営業外費用合計	7,486	—
経常利益	115,999	189,279
税引前中間純利益	115,999	189,279
法人税、住民税及び事業税	32,361	59,658
法人税等調整額	7,606	△222
法人税等合計	39,967	59,435
中間純利益	76,031	129,844

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	115,999	189,279
減価償却費	4,178	18,346
受取利息及び受取配当金	△6	△168
売上債権の増減額 (△は増加)	24,133	68,428
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,116	△2,808
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,274	5,236
前渡金の増減額 (△は増加)	191	△88
未払金の増減額 (△は減少)	△5,172	2,150
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20,411	△14,695
契約負債の増減額 (△は減少)	△59,539	△56,421
その他	△562	△27,044
小計	46,418	182,215
利息及び配当金の受取額	6	168
法人税等の支払額	△115,366	△34,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,941	147,717
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,149	△232,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,149	△232,098
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△80,091	△84,381
現金及び現金同等物の期首残高	1,353,734	2,119,879
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,273,643	2,035,498



(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、サイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。